



平成30年7月17日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送について

当社は、本年7月14日に日本原燃株式会社の低レベル放射性廃棄物埋設センター（青森県六ヶ所村）から廃棄体14本を下記のとおり受け入れました。

記

1. 輸送年月日

平成30年7月12日	日本原燃株式会社	
	低レベル放射性廃棄物埋設センター	発
	（青森県六ヶ所村）	
平成30年7月14日	敦賀発電所	着

2. 輸送数量等

充填固化体14本※（輸送容器2個に収納）

※平成28年10月に埋設センターに輸送した廃棄物のうち、発電所の搬出検査装置の放射能濃度測定プログラムに不具合が判明したため埋設されなかったもの（12本）、歪みがあり埋設センターの廃棄物取扱設備で取り扱うことができなかったもの（2本）

3. 輸送方法

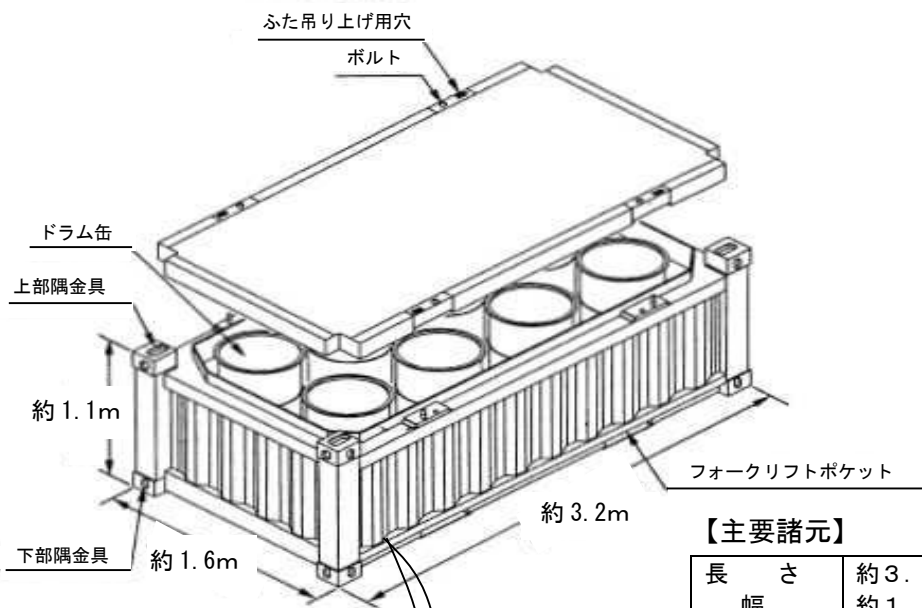
陸上輸送

参考資料 低レベル放射性廃棄物輸送容器概要図

以 上

低レベル放射性廃棄物輸送容器概要図

低レベル放射性廃棄物輸送容器

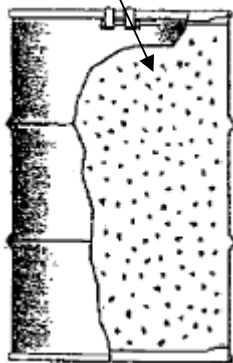


【主要諸元】

長 さ	約 3. 2 m
幅	約 1. 6 m
高 さ	約 1. 1 m
重 量	約 1. 2 トン (空重量) 約 9. 2 トン (総重量)
主要材質	炭素鋼
容 量	200 リットルドラム缶 8 本収納可能

均質固化体

濃縮された廃液をアスファルトで固型化したもの。



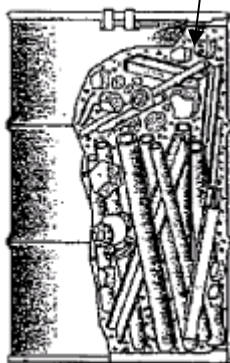
均質固化体とは、原子力発電所の運転に伴い発生した廃液を濃縮処理した後、アスファルトとともにドラム缶内に充填し均質・均一に固型化したもの。

充填固化体

今回輸送した廃棄物

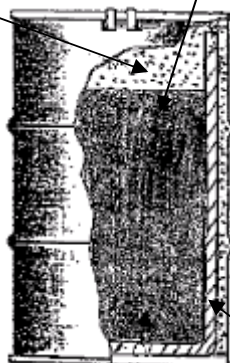
金属類、コンクリート等をセメント系充填材（モルタル）で固型化したもの。

セメント系充填材（モルタル）



金属類、コンクリート等を熔融処理しセメント系充填材（モルタル）で固型化したもの。

熔融処理した固体状廃棄物



専用受容器

定期検査時等の工事に伴い発生した、金属類、コンクリート等の固体状の低レベル放射性廃棄物を種類毎に分別し、必要に応じて切断または熔融処理を行った後、ドラム缶に収納し、セメント系充填材（モルタル）を充填し固型化したもの。